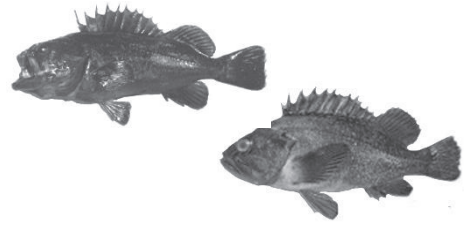


クロソイ・キツネメバル



Sebastes schlegelii (クロソイ)

Sebastes vulpes (キツネメバル)

生態

クロソイ

- ①寿命：10年以上
- ②成熟：オス3歳以上
メス3歳以上
- ③繁殖期：12月～1月に交尾し6月～7月に産仔
- ④分布：日本各地、特に北日本に多い。朝鮮半島、中国にも分布。
- ⑤生態：卵胎生魚。成魚は沖合の岩礁域に生息。

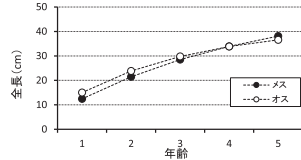


図 青森県クロソイの成長
出典：山内（1994）H5年度放流技術開発事業報告書クロソイ班、77-89。

キツネメバル

- ①寿命：10年以上
- ②成熟：オス4歳
メス6歳
- ③繁殖期：11月～12月に交尾し5月～6月に産仔
- ④分布：日本海沿岸、神奈川県以北の太平洋。青森県では全域に分布。
- ⑤生態：卵胎生魚。成魚は岩礁域に生息。

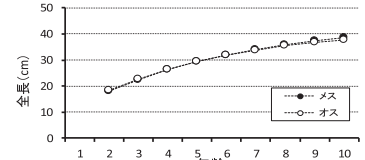


図 青森県キツネメバルの成長
出典：吉田ら（2020）H30年度青産技セ水総研事業報告書、398-402。

主な漁業

両種とも定置網、籠、一本釣等で漁獲される。クロソイは1歳、キツネメバルは3歳から漁獲される。なお、キツネメバルにはタヌキメバルも含まれるが混入率は不明。

漁獲の動向と水準

青森県海面漁業に関する調査結果書では「そい類」としてクロソイ、キツネメバル等は一括で集計され、両種の長期間の漁獲データはない。そい類の漁獲量は1976年の250トンから1989年の111トンまで減少した後、2015年まで127トン～227トンの範囲で増減し、2016年以降増加に転じ2018年に280トンを記録したが、2022年に201トンと減少した。

2022年のクロソイとキツネメバルの漁獲水準は、青森県産業技術センター水産総合研究所が調べた2001年以降の県内主要漁協の漁獲量の最高値と最低値との間を3等分し、上から高位、中位、低位とすると、クロソイは低位、キツネメバルは中位であった。

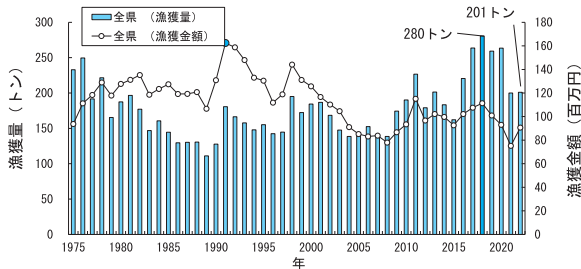


図 青森県におけるそい類の漁獲量及び漁獲金額の推移

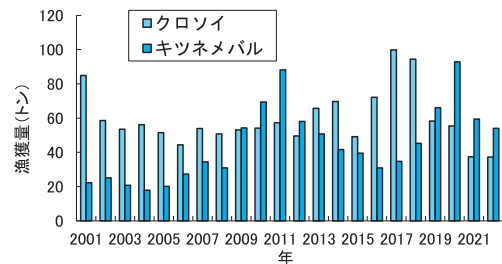


図 主要漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量（水総研調べ）



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（風合瀬漁協 1995年3月）
 - ・クロソイについて15cm未満個体の再放流、荷受け制限を定めた。
- ☆上記のような小型魚の漁獲を自粛する取組を継続することが必要である。

トピックス

公益社団法人青森県栽培漁業振興協会と青森県産業技術センター水産総合研究所はキツネメバルの標識放流と市場調査を行っている。2022年11月に北金ヶ沢漁港から左腹鰭を抜去した稚魚1.0万尾を放流した。